



※講義時間:170分

現場で使える“聴く・感じる・伝える・共感する”スキル! スピリチュアル・ペインを抱える 認知症高齢者とのコミュニケーション ～五感対話®法入門

お互いの信頼関係の向上と心の安寧につながる。



都村尚子氏

関西福祉科学大学大学院
社会福祉学研究科 教授/臨床教育学博士
一般社団法人五感対話ネットワーク 代表理事
五感対話法首席講師

特別養護老人ホームの職員から介護福祉士養成校の教員となり、臨床教育学博士号を取得。専門は対人コミュニケーション・高齢者福祉。主として認知症高齢者への支援について研究している。リアルなコミュニケーションがますます困難になるこの時代にこそ、「こことここの真の交流」があらゆる場面で何よりも大切であるということ、そしてそれによって得られる喜びがいかに大きいものであるかを追求し続けている。

録画配信
オンライン

[視聴期間]

約2週間

※視聴開始日を
指定いただけます。

受講料 一般 13,000円 会員 10,000円

税込 ※テキストはpdfでご提供します。(印刷可)
※PC/タブレット/スマートフォンなどインターネット環境が必要です。

五感対話法とは

五感を活用し、対象者の想いや存在に近づくコミュニケーション法。認知症者など、自らの存在に対する問いや痛み(スピリチュアル・ペイン)を抱え、対話に困難を感じている人々のための、日本発の共感を伴うコミュニケーションによって、全人的ケアを目指します。

プログラム

1. 五感対話法の基礎知識と 認知症高齢者とのコミュニケーション

- スピリチュアル・ペインとは
- 「認知症を生きる」ということ
- 認知症になって失うもの・失わないもの
- 認知症者へのスピリチュアル・ケア
- スピリチュアル・ケアを可能にするもの
- 聴くことの効果
- 「何」を「聴く」のか
- なぜ、「聴けない」のか
- 「聴くこと」とは
- 「共感」とは
- ネガティブ・ケイパビリティとは
- 共感的コミュニケーションとしての「五感対話法」の枠組み
- マインドフルネスとは

2. 【演習・デモンストレーション】で学ぶ 五感対話法の基本的態度

- 五感を研ぎ澄ます～【演習】マインドフルネス
- ホスピタリティーを保つ～【デモンストレーション】反復する・位置
- わかちあう～【デモンストレーション】映す

プログラムや講師プロフィールなどセミナーの詳細はこちらから▶

日総研 17167

検索

関連雑誌

現場実務のスキルアップ!

認知症看護と看取りの実践・教育に!

臨床老年看護

B5判 96頁
入会金 3,000円
年間購読料
18,900円(共に税込)

Web教材+実務専門誌(定期刊行物・会員制)

今後の特集

- 一般・療養病床における高齢・認知症患者のケア [5-6月号]
- がんの知識と高齢がん患者の看護 [5-6月号]
- グリーフについて考える [5-6月号]
- 高齢者のうつ病・うつ状態の理解と看護 [7-8月号]
- 睡眠と睡眠障害について考える [7-8月号]
- 老年看護学教育の工夫と実際 [7-8月号]

優れた接遇サービスを実践する病院・介護事業所を表彰



日総研 接遇大賞

応募は9月30日まで。発表は11月。

これまで受賞された全48施設の特色を
Webで公開中

接遇大賞

検索

国家資格の受験資格を取得することができる養成所

厚生労働大臣指定 一般財団法人 日本総合研究所

社会福祉士養成所 通信課程

精神保健福祉士養成所 通信課程

お問合せ TEL: 0120-054977

URL: www.nissoken.com

日総研

検索